



武蔵野

学校だより NO. 6
令和 5年10月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 大河原 博



武蔵野小 HP

10月7日は運動会です



朝夕の涼しさに季節の移り変わりを感じます。9月の最終週頃から、子供たちが校庭で体育をしていると、数百というトンボ（アキアカネ）の飛びまわる姿が見られるようになりました。それも、ちょうど子供たちの頭の高さほどを優雅に飛び、近くに人がいても、よけるだけで遠くへ行ってしまうことはありません。青い空の下、赤白の帽子をかぶった子供たちが緑の芝で鬼ごっこをしていると、まるでトンボたちも一緒に追いかけてっこをしているような錯覚を覚える不思議な風景が広がっています。

さて、本校では10月7日に運動会を開催いたします。新型コロナウイルスによる行動制限が解除されてから初めての運動会です。午前中の実施ですが、参観者の制限もなく、多くの地域の皆様やご家庭の皆様にご覧いただける運動会です。ぜひ、ご来校いただき、子供たちに大きな声援をいただければ幸いです。



思えば、この夏から秋にかけ、私たちはテレビやニュースで、多くのスポーツの大会などを通して、たくさんの感動をいただきました。池江璃花子選手の復活に改めて感動した福岡の世界水泳や、最後の一球で奇跡の金メダルを手にした世界陸上やり投げの北口榛花選手。現在は療養中ですが、MLB エンジェルス大谷翔平の活躍には、日本人としての嬉しさからか、結果の分かっているニュースを何度も見ました。慶應義塾高校の優勝で幕を閉じた夏の甲子園大会には新たな時代の幕開けを予感し、パリオリンピック出場を決めたバスケットボール日本代表のワールドカップ順位決定戦では固唾をのんで残り時間をカウントしながら選手を応援し、阪神タイガースのセリーグ優勝とともに、信じれば夢は叶うということも教えてもらいました。

現在も中国・杭州のアジア大会やラグビーワールドカップの激闘が続いていますが、どの競技でも魂込めて日々の努力を積み上げてきた選手が躍動する姿は神々しいほど美しく、その真剣さは結果の如何によらず私たちに感動を与えてくれます。



今、武蔵野小の子供たちも、自分たちの演技を作り上げようと一生懸命に頑張っています。切れのあるダンスや表現の工夫をしたり、友達と話し合ったりしながら、よりよいものにしていこうと真剣に努力をしています。きっと、参観された皆様に、アスリートに負けない感動を与えてくれることなのでしょう。また、5・6年生は、高学年として係の仕事も担います。運動会を通して、子供たちがそれぞれのめあてをもち、達成感と満足感が得られるよう、職員一同支援していきます。本番まであと一週間。ご家庭でも励ましの言葉かけをお願いいたします。

当日は、子供たちの努力と頑張り、そして成長に、惜しめない拍手と声援をお願いいたします。

hyper-QU テストの結果について

特別活動部

3年生～6年生で行ったハイパーQUテストの結果を個別に配布します。ハイパーQUとは、「学校生活における児童の満足感や意欲、学級集団の状態を質問事項への返答によって測定するもの」です。お子様と内容をご確認いただき、学校生活へのお子様の満足感や意欲の指標にさせていただき、ご家庭でも、今後の学校生活への励ましや意欲につながるアドバイスをいただくと幸いです。よろしくをお願いいたします。

(3年生はすでに配布済です。)